灯

地域活性化へ向けて
歩行者天国～再活性

草野　義輔

3月といえばひな祭り。ひな祭りといえば天領日田おひなまつりが一番だろう。今年は第30回と銘打ってPRしているが、30回という数字は「地域活性化のお手伝いを」ということで来月三回忌を迎える私の母が始めてからの回数だ。

その後各地で観光おひな祭りが行われているが、元祖としての地位は簡単には譲れない。しかし近年は観光客の減少が心配され、土産店も売れ行き減少との嘆きが聞こえていた。

何か知恵はないか、と私が会長を務める豆田観光協議会のおひなまつり準備会議で検討し、ぜひ歩行者天国の実現を、となった。早速関係自治会長や商店会長らにお願いしたが、観光業とは関係のない住民のご理解も得なければならない。交通規制をすれば8カ所ほどに交通案内の人を配置しなければならず、その費用も相当かかる。

問題点を検討しているうちに、自前の資金を投入して努力するなら県や市の地域活性化資金から支援可能ということになり、ようやく歩行者天国が豆田の御幸通りに、日曜日のみだが実現した。まだおひなまつりが終わっていないのでその効果は確定できないが、3月2、3日の土日は天候にも恵まれ近年では一番のにぎわいを見せた。また、歩行者天国で観光客がゆっくり歩くことで売り上げ増の話も聞こえてくる。小さな努力だが地域再活性の第一歩になればと願う。

（昭和学園高校理事長・日田市）